The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ソリューション提案型センターへの期待
Author(s)	村上, 孝三
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1999, 111, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66313
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

巻頭言

ソリューション提案型センターへの期待

大阪大学 大学院工学研究科　村上 孝三（教授）

新しい社会秩序の構築に向けた今日の大変革期に、情報システム技術の発展が大きなインパクトを与えているのはご承知の通りです。その情報システムの分野でも、ホストコンピューティングから分散コンピューティングへの移行という大変革が起きています。この傾向は、コンピュータのダウンサイジングとネットワーク化によるパーソナルコンピューティングの普及という潮流だけでなく、社会システムとしての大規模情報システム基盤の構築という課題があります。電子商取引、遠隔会議を始め、医療、教育、行政など様々な分野で情報技術を基本にした新しいシステムの開発が進められています。このような情報基盤をいかに早期に構築できるかがこれからの高度情報化時代におけるリーダシップの必須要件ですが、まだ課題が山積しているというのが現状です。

性能、効率最優先で、質より量が重視されたホストコンピューティングの時代に比べ、広域に分散して存在する多様な情報資源をネットワークで結合し、利用者個別の多様な要求に柔軟に対応することが今要求されています。分散コンピューティングのためのシステムアーキテクチャや開発手法という技術的問題はもちろん、安全でかつ高信頼な運用、管理の問題等多面的な観点での、新しい発想に基づく知恵と労力が求められています。こうしてみますと、このような重大な課題に学術面から立ち向かう希少なる組織として大型計算機センターの使命と役割はますます大きいと思います。

我が大型計算機センターは、ここ３～４年の間に、ギガビットネットワーク、高並列型スーパーコンピュータ、高性能オープンコンピュータシステムおよびマルチメディア処理システムなどを導入し、分散コンピューティング時代ふさわしい、世界に冠たる情報システムインフラを有することになりました。このような中で、新しい時代に向けた大型計算機センターに期待するもの、それが掲題のソリューション提案型センターです。

顧客指向の問題解決型ビジネスは、ご承知のように産業界のリストラにおける企業理念の最大テーマです。ビジネスの分野ではこれまでのような技術、性能優先のプロダクトアウトの発想から顧客ニーズ優先のマーケットインの発想への転換が焦眉の課題となっています。そこでは、経営者よりも顧客の業務、経営に精通し、経常利益に直結する情報システムの提案、すなわちソリューションが唯一無二の決め手になっています。性能や汗や量の問題ではもはやないと言えます。学術研究分野でも、産業界に対する大学の役割として、特に情報システムに関連する分野で同じことが言えます。産業界に先駆けて、医療、教育、経済、社会あらゆる社会経済システムのモデルシステムを構築すること、そのために学部･研究科あるいは大学間の関連部門との横断的連携を図り、学際的プロジェクトとしてその企画編成、推進実施を主要なミッションと位置づける必要があると思います。そのためには、情報システムの運用、管理力のみならず研究開発力の一段の強化が必要と思われます。プロジェクト拠点としてのコミュニティの形成そして大規模情報システムの提案型研究開発拠点としての役割を期待するものです。